

## 認知症カフェ運営者等情報交換会を開催しました

認知症カフェは、認知症の人やご家族が安心して過ごすための「通いの場」として運営されていますが、今後も継続して運営していくために、認知症カフェの運営者等を対象に、10月、11月に県内4会場にて情報交換会を開催しました。カフェの運営者や地域包括支援センター職員の皆様に多数ご参加いただき、ありがとうございました。

県からの情報提供後に始まった情報交換会(グループトーク)では、地域の特性や立地などの違いはあれど、同じ悩みを

持たれていることを実感し、お互いに「これについてはどうですか?」、「うちではこうしています!」といった活発な意見が交わされました。新型コロナウイルス感染予防の観点から、今回はグループトークの時間を短縮することとなり、話し足りないと感じられた方も多くいらっしゃいました。

この度の情報交換会で顔見知りとなられた方々と連絡を取り合い、相談できる関係づくりのきっかけとしていただければと思います。

### 情報交換会の主なテーマと工夫等

★ まだまだ掲載しきれない課題については、引き続きカフェ通信で★  
★ 情報提供していきたいと思っております。★

#### ● コロナ禍における開催状況

- ・事前申込制にして人数制限をしている
- ・紙面カフェにより、つながりを維持した
- ・飲食の提供をセルフ → スタッフ提供に変更

#### ● 参加者を増やす工夫

- ・市町村広報誌に掲載、回覧板の活用、公民館へのチラシ
- ・一般の方には紙媒体、専門職へはSNSが効果的
- ・利用者、ボランティアによる口コミ
- ・ナイトカフェ、土曜カフェでご家族の参加しやすい環境を
- ・映画上映するとご本人とご家族の両方が参加しやすい

#### ● メンバーが固定化し、サロン化してしまう

- ・専門職の方に来ていただき、相談できる体制をとる
- ・会の始まり時に趣旨説明を行う
- ・自施設入所の認知症の方に参加していただきお話を聞く
- ・現在お元気な参加者が、認知症になっても引き続き安心して来ていただける居場所であることが重要では?

#### ● ボランティアスタッフの協力

- ・認知症サポーター養成講座受講者にボランティア意向確認
- ・認知症サポーターステップアップ講座受講者に声かけ
- ・生活支援コーディネーターとボランティア人材情報の共有

## さくらんぼカフェより

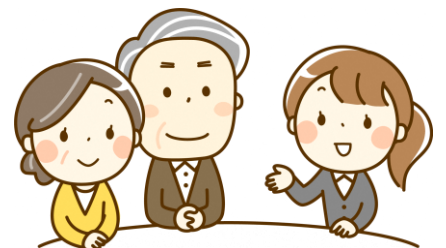
さくらんぼカフェから旬の話題をお届けします!

## 県外からの相談者

10月の相談事例です。東京都に在住している娘さんが山形に帰省した際に、認知症疾患医療センターにて、親御さんの認知症の診断を受けました。認知症疾患センターから当さくらんぼカフェの紹介を受けてお越しください、娘さんの不安な気持ちや親御さんの状況、経過などをお話いただきました。

さくらんぼカフェから、親御さんがお住まいの地域包括支援センターへ連絡したところ、担当の方にさくらんぼカフェへお越しいただくことができました。その場で、今後の介護保険の申請関係などの実務的な手続きの話を進めてくださいました。娘さんが帰省されてから数日という短い間で、今後の相談を一度に行うことができました。

県外にお住まいの方が関わってくる場合、どうしても新型コロナウイルスの感染を心配してしまいますが、関係機関で連携を取り、最善の御案内ができたと思えました。



## 「支えあい館」

在宅介護を支える家族の会 代表 **工藤美恵子**（村山市）

「支えあい館」は、北村山を中心に活動している「在宅介護を支える家族の会」が開催している「居場所」です。子ども、高齢者、障がい者、失業者等、誰もが気軽に集える居場所として開放しています。おいしい食事の提供や、健康づくり、住み慣れた地域で暮らしを継続できる自立支援につながる活動を提供しています。車いす対応のトイレあり、おいしいコーヒーあり、お弁当などの持ち込み自由など、気軽に寄ることができる場として運営しています。

毎週「火・木・金」を中心に、第1日曜日と第3土曜日は、カフェや子ども食堂、バザー等の催し物があり、北村山地域（主に村山市にて。ほか年1回ずつ東根市、尾花沢市、大石田町にて開催。）での「集い」（介護者等の相互交流）なども行っています。

取り組み内容の一部をご紹介します。

- ・おしゃべりカフェ「集い」（認知症カフェ。「遊びで脳トレ」で健康マージャン、囲碁、将棋等）
- ・みんなでおうち屋ごはん（子ども食堂。地元業者の「まいるう」カレーや季節毎の料理を一緒に作ったり、宿題、

遊びなど）

- ・家族介護教室（講師などを招き、介護について学びます）
- ・リンパドレナージ（リンパ排液マッサージ療法）
- ・いきいき百歳体操
- ・管理栄養士による食事会
- ・歯科衛生士による健口教室
- ・ものづくり（マスク、ぞうきん、小物など）

参加費は基本 300 円（お茶・お菓子代）で、中学生以下は持ち合わせのワンコイン、高校生・障がい者・失業者は半額です。居場所の昼食を食べる方は、別途 200 円をいただいています。

皆さん、お気軽にお立ち寄りください♪

（編注：活動は、コロナ禍でも休止せずに継続されているそうです。）

住所：村山市楯岡十日町 7-15

電話：090-2844-1150（担当：池野）



## インフォメーション

ホットな話題をお届けします！

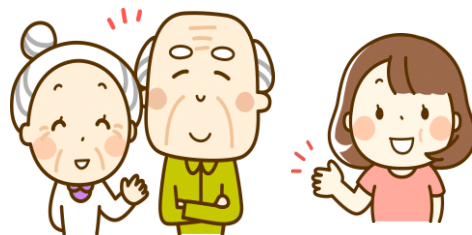
### 認知症の方の疑似体験を通して学ぶ

～寒河江市社会福祉協議会の取り組みより～

去る 10 月 4 日（日）に寒河江市社会福祉協議会により、地域福祉推進員を対象にしたワークショップ「認知症に関する疑似体験」が寒河江市文化センターにて開催されました。

「疑似体験」では、寒河江市を拠点に活動する寸劇グループの方が、いくつかの認知症の初期症状のパターンを演じ、参加者の方は、初期症状の見られる方への声のかけ方や接し方などを体験しました。このワークショップを通じて、実際に初期の認知症の方を理解し、地域で気づき、関係機関へつなぐことができるようにとの目的で実施されました。

演劇の練習段階では、「認知症の人と家族の会 山形県支部」世話人の五十嵐代表もアドバイザーとして参加させて頂きました。



### カフエ情報

#### 白鷹町「のどかカフェ」のご紹介

ボランティアの任意団体「ちょぼらの会」が白鷹町からの委託を受けて実施している認知症カフェです。

「ちょぼら」とは「ちょっとずつのボランティア」という意味です。デイサービスやサロンを開催したり、家事支援等の活動の拠点となっている一軒家「ちょぼらの家」で、介護・認知症予防のためのカフェ「のどかカフェ」を行っています。

開催：月1回

場所：ちょぼらの家  
（白鷹町荒砥甲373-8）

電話：0238-85-6188

代表：平吹 隆さん

発行元：山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ 山形県認知症コールセンター（山形市 県小白川庁舎内）  
電話・来所相談・カフェオープン 月曜～金曜日 昼 12 時～午後 4 時  
TEL 023-687-0387 FAX 023-687-0397 皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。